



平成24年7月期 第3四半期決算短信〔日本基準〕(連結)

上場会社名 株式会社 メディアシーク
コード番号 4824 URL <http://www.mediaseek.co.jp/>
代表者 (役職名) 代表取締役社長
問合せ先責任者 (役職名) 取締役業務管理部長
四半期報告書提出予定日 平成24年6月14日
配当支払開始予定日 —
四半期決算補足説明資料作成の有無 : 無
四半期決算説明会開催の有無 : 無

平成24年6月1日
上場取引所 東

(氏名) 西尾 直紀
(氏名) 根津 康洋

TEL 03-5423-6600

(百万円未満切捨て)

1. 平成24年7月期第3四半期の連結業績(平成23年8月1日～平成24年4月30日)

(1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
24年7月期第3四半期	1,078	△17.9	△83	—	△83	—	△61	—
23年7月期第3四半期	1,314	△8.3	13	△39.1	12	△45.8	△25	—

(注) 包括利益 24年7月期第3四半期 △33百万円 (—%) 23年7月期第3四半期 △25百万円 (—%)

	1株当たり四半期純利益	潜在株式調整後1株当たり四半期純利益
	円 銭	円 銭
24年7月期第3四半期	△637.08	—
23年7月期第3四半期	△263.53	—

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率	1株当たり純資産
	百万円	百万円	%	円 銭
24年7月期第3四半期	2,100	1,772	82.4	17,835.47
23年7月期	2,095	1,815	85.2	18,415.31

(参考) 自己資本 24年7月期第3四半期 1,729百万円 23年7月期 1,785百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
23年7月期	—	0.00	—	100.00	100.00
24年7月期	—	0.00	—		
24年7月期(予想)				0.00	0.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

3. 平成24年7月期の連結業績予想(平成23年8月1日～平成24年7月31日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益		1株当たり当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	1,400	△18.4	△167	—	△195	—	△203	—	△2,093.17

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

4. その他

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動（連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動）： 無
新規 ― 社 （社名） 、 除外 ― 社 （社名）

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 ： 無

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 ： 無
- ② ①以外の会計方針の変更 ： 無
- ③ 会計上の見積りの変更 ： 無
- ④ 修正再表示 ： 無

(4) 発行済株式数（普通株式）

- ① 期末発行済株式数（自己株式を含む）
- ② 期末自己株式数
- ③ 期中平均株式数（四半期累計）

24年7月期3Q	97,215 株	23年7月期	97,215 株
24年7月期3Q	233 株	23年7月期	233 株
24年7月期3Q	96,982 株	23年7月期3Q	96,982 株

※四半期レビュー手続の実施状況に関する表示

・この四半期決算短信は、金融商品取引法に基づく四半期レビュー手続の対象外であり、この四半期決算短信の開示時点において、金融商品取引法に基づく四半期財務諸表のレビュー手続は終了していません。

※業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

・本資料に記載されている業績の見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいております。実際の業績等は、様々な要因により、上記予想数値と異なる場合があります。

業績予想の前提となる条件等については、【添付資料】4ページ「1. 当四半期決算に関する定性的情報(3)連結業績予想に関する定性的情報」をご覧ください。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報・・・・・・・・・・・・・・・・	2
(1) 連結経営成績に関する定性的情報・・・・・・・・・・	2
(2) 連結財政状態に関する定性的情報・・・・・・・・・・	3
(3) 連結業績予想に関する定性的情報・・・・・・・・・・	4
2. サマリー情報(その他)に関する事項・・・・・・・・・・	4
(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動・・	4
(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用・・	4
(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示・・	4
3. 四半期連結財務諸表・・・・・・・・・・・・・・・・	5
(1) 四半期連結貸借対照表・・・・・・・・・・	5
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書・・	7
(3) 継続企業の前提に関する注記・・・・・・・・・・	9
(4) セグメント情報等・・・・・・・・・・	9
(5) 株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記・・	10

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 連結経営成績に関する定性的情報

当第3四半期連結累計期間におけるわが国経済は、雇用・所得環境は依然厳しく、円高や世界的な金融不安の影響等も含め、先行き不透明な状況が続いております。

当社グループは、コンテンツ事業において、既存の携帯電話向け有料コンテンツのサービス強化を行ったほか、「スーパーボディ」、「Beauty マクロビオ!」、「週刊プロレスmobile」、「東スポ芸能」、「顔層筋セルフメソッド」等、従来サービスに加え、新たなスマートフォン向けコンテンツの提供を開始しました。システムコンサルティング事業においては、主に既存クライアント向けシステムコンサルティング業務による売上を計上しました。サービス開発事業においては、バーコードリーダー等モバイル機器向けソフトウェアのライセンス販売を行いました。さらに、有料ライセンス版とは別に、スマートフォン向け無料提供版として新たに企画・開発した「バーコードリーダー/アイコンット」のダウンロードによる提供を開始し、ダウンロード開始から3ヶ月で70万を超えるダウンロードを達成しました。その結果、当第3四半期連結累計期間の売上高は、1,078,975千円(前年同期比17.9%減)、営業損失は、83,731千円(前年同期は、13,541千円の営業利益)、経常損失は、83,736千円(前年同期は、12,740千円の経常利益)、四半期純損失は、61,785千円(前年同期は、25,558千円の四半期純損失)となりました。

セグメント別の概況は以下の通りです。

なお、前連結会計年度においては、主にスマートフォン向けの新規技術等を開発するための研究開発要員を「サービス開発事業」セグメントの内部に配属しておりましたが、第1四半期連結会計期間から、より一層の研究開発体制の強化を目的として、「サービス開発事業」セグメントから独立した研究開発の専属部門を設立し、「サービス開発事業」セグメントで集計していた研究開発活動を「調整額」で集計するように区分を変更しております。前年同期比の金額及び比率については、前第3四半期連結累計期間を当第3四半期連結累計期間において用いた報告セグメントの区分に組替えて算出しております。

(サービス開発事業)

サービス開発事業においては、従来の携帯電話向け組込み型バーコードリーダーのライセンス販売に加え、スマートフォン向けにもバーコードリーダーを提供し、主要な携帯電話メーカーや通信事業者、情報サービス事業者等に対し、アプリケーションソフトウェアのライセンス販売を行いました。その結果、同事業の当第3四半期連結累計期間の売上高は、127,578千円(前年同期比23.6%減)、セグメント利益は、27,068千円(前年同期比54.1%減)となりました。

(コンテンツ事業)

コンテンツ事業においては、既存の携帯電話向け有料コンテンツのサービス強化を行ったほか、「スーパーボディ」、「Beauty マクロビオ!」、「週刊プロレスmobile」、「東スポ芸能」、「顔層筋セルフメソッド」等、新たなスマートフォン向けアプリケーションコンテンツの提供を開始しました。その結果、同事業の当第3四半期連結累計期間の売上高は、468,072千円(前年同期比28.3%減)、セグメント利益は、89,403千円(前年同期比7.1%減)となりました。

(システムコンサルティング事業)

システムコンサルティング事業においては、主に既存クライアントに対するシステムコンサルティングサービスを実施しました。その結果、同事業の当第3四半期連結累計期間の売上高は、483,325千円(前年同期比2.2%減)、セグメント利益は、86,775千円(前年同期比21.1%減)となりました。

(2)連結財政状態に関する定性的情報

(資産、負債及び純資産の状況)

① 資産の部

当第3四半期連結会計期間末における総資産は、2,100,303千円(前連結会計年度末から4,998千円の増加)となりました。

このうち、流動資産は、1,446,772千円(前連結会計年度末から64,621千円の減少)となりました。これは、主として売掛金が48,313千円減少したこと及び流動資産のその他に含まれている繰延税金資産が19,885千円減少したことによるものです。

固定資産は、653,531千円(前連結会計年度末から69,620千円の増加)となりました。これは、主として有形固定資産の工具器具備品が21,199千円増加したこと及び投資その他の資産のその他に含まれている繰延税金資産が54,493千円増加したことによるものです。

② 負債の部

当第3四半期連結会計期間末における負債は、328,056千円(前連結会計年度末から48,667千円の増加)となりました。

このうち、流動負債は、226,276千円(前連結会計年度末から21,242千円の増加)となりました。これは、主として1年内返済予定の長期借入金が16,800千円増加したことによるものです。

固定負債は、101,779千円(前連結会計年度末から27,425千円の増加)となりました。これは、主として長期借入金が25,797千円増加したことによるものです。

③ 純資産の部

当第3四半期連結会計期間末における純資産は、1,772,247千円(前連結会計年度末から43,669千円の減少)となりました。これは、主としてその他の包括利益累計額のその他有価証券評価差額金が15,120千円増加したこと及び少数株主持分が12,565千円増加した一方で四半期純損失を計上したこと及び配当を実施したことにより利益剰余金が71,483千円減少したことによるものです。

(3) 連結業績予想に関する定性的情報

平成24年7月期の連結業績予想については、概ね当初の業績予想通りに推移しているため、平成23年9月9日に公表しました業績予想の数値に、変更はありません。

なお、当該予想については、現時点で入手可能な情報に基づき当社で判断したものです。実際の業績は、様々な要因によって、予想数値と異なる結果となる可能性があります。

2. サマリー情報(その他)に関する事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動

該当事項はありません。

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用

該当事項はありません。

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

該当事項はありません。

3. 四半期連結財務諸表
(1) 四半期連結貸借対照表

(単位：千円)

	前連結会計年度 (平成23年7月31日)	当第3四半期連結会計期間 (平成24年4月30日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	1,054,703	1,070,171
売掛金	397,202	348,888
商品	187	177
仕掛品	3,203	5,181
その他のたな卸資産	12,778	5,551
その他	53,728	25,691
貸倒引当金	△10,410	△8,889
流動資産合計	1,511,394	1,446,772
固定資産		
有形固定資産	39,548	60,932
無形固定資産		
のれん	7,168	4,716
その他	10,543	8,643
無形固定資産合計	17,712	13,359
投資その他の資産		
投資有価証券	353,098	349,833
その他	200,051	256,055
貸倒引当金	△26,500	△26,650
投資その他の資産合計	526,650	579,238
固定資産合計	583,910	653,531
資産合計	2,095,305	2,100,303
負債の部		
流動負債		
買掛金	100,782	99,063
1年内返済予定の長期借入金	8,671	25,471
未払法人税等	3,677	6,215
賞与引当金	—	731
その他	91,904	94,795
流動負債合計	205,034	226,276
固定負債		
長期借入金	56,655	82,452
退職給付引当金	243	247
資産除去債務	17,455	19,080
固定負債合計	74,353	101,779
負債合計	279,388	328,056

(単位：千円)

	前連結会計年度 (平成23年7月31日)	当第3四半期連結会計期間 (平成24年4月30日)
純資産の部		
株主資本		
資本金	814,962	814,962
資本剰余金	948,203	948,203
利益剰余金	158,202	86,718
自己株式	△39,678	△39,678
株主資本合計	1,881,689	1,810,205
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	△89,233	△74,112
為替換算調整勘定	△6,502	△6,373
その他の包括利益累計額合計	△95,735	△80,485
少数株主持分	29,962	42,527
純資産合計	1,815,916	1,772,247
負債純資産合計	2,095,305	2,100,303

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書
四半期連結損益計算書
第 3 四半期連結累計期間

(単位：千円)

	前第 3 四半期連結累計期間 (自 平成22年 8 月 1 日 至 平成23年 4 月30日)	当第 3 四半期連結累計期間 (自 平成23年 8 月 1 日 至 平成24年 4 月30日)
売上高	1,314,471	1,078,975
売上原価	959,044	778,906
売上総利益	355,426	300,069
販売費及び一般管理費	341,885	383,800
営業利益又は営業損失 (△)	13,541	△83,731
営業外収益		
受取利息	1,028	609
受取配当金	7,283	4,330
投資有価証券売却益	319	—
複合金融商品評価益	—	6,510
助成金収入	—	4,212
その他	5,878	2,156
営業外収益合計	14,509	17,819
営業外費用		
支払利息	1,330	1,235
投資有価証券売却損	1,500	—
投資有価証券評価損	9,329	16,174
その他	3,150	414
営業外費用合計	15,310	17,824
経常利益又は経常損失 (△)	12,740	△83,736
特別利益		
資産除去債務履行差額	5,223	—
特別利益合計	5,223	—
特別損失		
資産除去債務会計基準の適用に伴う影響額	16,005	—
固定資産除却損	5,357	218
事務所移転費用	15,465	128
特別損失合計	36,828	347
税金等調整前四半期純損失 (△)	△18,864	△84,084
法人税、住民税及び事業税	2,823	5,627
法人税等調整額	△5,096	△40,448
法人税等合計	△2,272	△34,821
少数株主損益調整前四半期純損失 (△)	△16,592	△49,263
少数株主利益	8,966	12,522
四半期純損失 (△)	△25,558	△61,785

四半期連結包括利益計算書
第3四半期連結累計期間

(単位：千円)

	前第3四半期連結累計期間 (自 平成22年8月1日 至 平成23年4月30日)	当第3四半期連結累計期間 (自 平成23年8月1日 至 平成24年4月30日)
少数株主損益調整前四半期純損失(△)	△16,592	△49,263
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	△8,183	15,120
為替換算調整勘定	△1,137	171
その他の包括利益合計	△9,321	15,292
四半期包括利益	△25,913	△33,970
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	△34,479	△46,536
少数株主に係る四半期包括利益	8,566	12,565

(3) 継続企業の前提に関する注記

該当事項はありません。

(4) セグメント情報等

【セグメント情報】

I 前第3四半期連結累計期間(自 平成22年8月1日 至 平成23年4月30日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:千円)

	報告セグメント			合計	調整額 (注) 1	四半期連結 損益計算書 計上額 (注) 2
	サービス開 発事業	コンテンツ 事業	システムコ ンサルティ ング事業			
売上高						
(1) 外部顧客への売上高	166,886	653,240	494,344	1,314,471	—	1,314,471
(2) セグメント間の内部売 上高又は振替高	—	—	37,056	37,056	△37,056	—
計	166,886	653,240	531,401	1,351,528	△37,056	1,314,471
セグメント利益	37,768	96,231	109,989	243,989	△230,448	13,541

(注) 1 セグメント利益の調整額は、全社費用です。全社費用は、主に報告セグメントに帰属しない一般管理費です。

2 セグメント利益は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

2. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

該当事項はありません。

II 当第3四半期連結累計期間(自 平成23年8月1日 至 平成24年4月30日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:千円)

	報告セグメント			合計	調整額 (注) 1	四半期連結 損益計算書 計上額 (注) 2
	サービス開 発事業	コンテンツ 事業	システムコ ンサルティ ング事業			
売上高						
(1) 外部顧客への売上高	127,578	468,072	483,325	1,078,975	—	1,078,975
(2) セグメント間の内部売 上高又は振替高	—	—	24,720	24,720	△24,720	—
計	127,578	468,072	508,045	1,103,696	△24,720	1,078,975
セグメント利益又は損失(△)	27,068	89,403	86,775	203,247	△286,978	△83,731

(注) 1 セグメント利益又は損失(△)の調整額は、全社管理部門の費用及び研究開発部門の費用です。金額の内訳は、全社管理部門が△214,974千円、研究開発部門が△72,004千円となっております。

2 セグメント利益又は損失(△)は、四半期連結損益計算書の営業損失と調整を行っております。

2. 報告セグメントの変更等に関する事項

前連結会計年度においては、主にスマートフォン向けの新規技術等を開発するための研究開発要員を「サービス開発事業」セグメントの内部に配属しておりました。第1四半期連結会計期間から、より一層の研究開発体制の強化を目的として、「サービス開発事業」セグメントから独立した研究開発の専属部門を設立し、「サービス開発事業」セグメントで集計していた研究開発活動を「調整額」で集計するように区分を変更しております。

前連結会計年度の対応する四半期連結累計期間について、変更後の区分方法により作成した報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報は、以下の通りです。

前第3四半期連結累計期間(自 平成22年8月1日 至 平成23年4月30日)

(単位:千円)

	報告セグメント			合計	調整額 (注) 1	四半期連結 損益計算書 計上額 (注) 2
	サービス開 発事業	コンテンツ 事業	システムコ ンサルティ ング事業			
売上高						
(1)外部顧客への売上高	166,886	653,240	494,344	1,314,471	—	1,314,471
(2)セグメント間の内部売上高又は振替高	—	—	37,056	37,056	△37,056	—
計	166,886	653,240	531,401	1,351,528	△37,056	1,314,471
セグメント利益	59,015	96,231	109,989	265,235	△251,694	13,541

(注) 1 セグメント利益の調整額は、全社管理部門の費用及び研究開発部門の費用です。金額の内訳は、全社管理部門が△230,448千円、研究開発部門が△21,246千円となっております。

2 セグメント利益は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

3. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

該当事項はありません。

(5)株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記

該当事項はありません。